

ポ ポ ポ 新聞

[Ponpoko News]

第 66 号



=発行=

2017年2月12日

喜多見ポポコ会議

www.ab.auone-net.jp/~ponpoko

喜多見北部町会長

廣江晶子さん



- ① ふれあい広場(異空間、多摩川の花火が見られたり、お弁当を広げたりと楽しめる)、野川(桜並木、自然が良い)
- ② 世田谷通りを渡ると、人工的でなく自然・畑・花などと共存し、豊かさゆとりを感じ、行くたびに良いなあと思う
- ③ 昔は何もなかったが人のつながりがもっとあったと聞く
- ④ 通りすがりに気軽に声をかけあい、笑顔や言葉を交わし合う風景は心にゆとりを感じさせます
- ⑤ 喜多見は「喜びを多く見る」町です。ここに住む私たち自身が喜びを多く発信できると素敵ですね

喜多見中部町会長

北村洋明さん



- ① 慶元寺の参道(秋、昼過ぎの木漏れ日の時間)
- ② 特になし
- ③ 昔は4丁目の自宅からも富士山が見えたが色々建ち見えなくなった。冬には南武線の音や成城学園前駅のアナウンスの声も聞こえた
- ④ 田園風景
- ⑤ あまり高い建物を建てないで今の風景を後世に残しましょう

質問内容

- ① あなたの町会の中で自慢の風景・場所
- ② あなたの町会以外で気に入っている風景・場所
- ③ 今は失われてしまった印象に残っている風景
- ④ 喜多見らしい風景とは
- ⑤ 喜多見の皆さんへ一言

喜多見西部町会長

金子幸憲さん(代理:森谷さん)



- ① 滝下橋緑道、念仏車、野川(自然豊かな川辺)
- ② 次大夫堀公園、慶元寺の三重塔、氷川神社・須賀神社(神楽や湯花神事の伝統が残っていること)
- ③ 外環道工事にともない変わってしまいつつある野川を残念に思う
- ④ 豊かな自然が残っている、農地があり無人販売所がある、伝統的な文化が残っている
- ⑤ 自分の住んでいる町は、自然豊かな所だと誇りにしてください。ぜひ休日などに散歩をして自然に触れ、楽しんでほしいと思います

喜多見東部町会長

石井敏活さん



- ① 諏訪神社(小さな神社だが昔のままの状態に残されている)、次大夫堀公園
- ② 慶元寺の参道
- ③ 各所に流れていた小川(町内にはいくつもの小川が流れていた。小川は澄んだ水が流れ、洗い場もあった)
- ④ 緑の多い風景(最近畑がどんどん無くなり住宅になってしまうのがさみしい)
- ⑤ ケヤキ等大きな樹木をお持ちの方は極力残してほしいと思います



喜多見らしい風景をつくろう! ④

「自慢の風景」 「喜多見らしい風景」

町会・自治会長さんに聞きました

今年度ポポコは「喜多見らしい風景をつくろう!」をテーマに、私たち自身に無理なく貢献できることはないかと活動してきました。シリーズ最終回は町会長・自治会長の皆様からお話を伺いました。

喜多見上部自治会長

荒川和茂さん



- ① 子育て中のお母さんたちの要望で植樹された榎を記念して、公園の名称を「次大夫堀公園えのきひろば」にしました。地域の人たちの憩いの場・ふれあい広場として利用されています
- ② 喜多見地域大好きです
- ③ 東京外かん道路予定地の立ち退きによって殺風景な更地になっている、野川沿いの街並み
- ④ みどりと水と農の調和した風景
- ⑤ いつまでも住み続けたいと実感できるまちづくりを、皆さんと一緒に推進していきましょう

都営喜多見2丁目団地自治会長

菊地 朗さん



- ① 児童館隣のローラー公園(子ども達で賑わっている)、喜多見公園(グラウンドと公園が一緒になっている)
- ② 次大夫堀公園と野川
- ③ 30年くらい前は公園の向こうは空き地と藪で昔の田舎風だった、畑から住宅へ変わっていった
- ④ 畑と住宅が混在している、余裕がある、田舎の雰囲気が残っている
- ⑤ 特になし

春がはじまる立春の前日に

きたみ節めぐり



2月3日は一日中喜多見のあちこちで節分を楽しむことができます。どれだけ回れるか挑戦してみました。

■ 氷川神社

まずは10:00氷川神社。喜多見小学校・国本小学校の子ども達、老若男女でいっぱいです。神官、天狗、大国様、恵比寿様の行列が一旦境内を出て参道を通り社殿へ入ります。神官が祝詞を上げると突然、赤・青・黒・白の鬼が現れ、鬼を拒む神官と問答。鬼は神官との問答に負けて、桃の弓・葺の矢と、いり豆で「鬼は外」と追い返されます。



逃げてくる鬼に驚いて泣く子、大喜びの大人たち、早速写真撮影会が始まりました。



次に「福は内」と豆をまくと、福の神様が現れ、恵比寿舞、大国舞。大国様が小槌から出した宝を授けていただき、11:00頃終了。境内では甘酒の接待もありました。

■ 次大夫堀公園民家園

13:30からは民家園の加藤家で節分の解説会。囲炉裏を囲み、実は節分は



年4回あること、2月の節分は農事暦の新年で昭和初期まで喜多見では節分に年越しそばを食べていたことなどを伺いました。



14:00から皆で豆まき。豆まきの掛け声は地域によって「福

は内」「鬼は外」の順番や回数が違います。民家や門が元あった地域の掛け声で、神棚、仏壇、座敷などのほか、家の中から外へ、外から中へと豆をまき、最後に福茶をいただき14:30頃終了。

■ 慶元寺

14:00から慶元寺で法要後豆まきがあるというので急ぎ慶元寺へ。豆まきは14:30頃からだったそうで、やはり間に合いませんでした。ここが難しい。

■ 喜多見不動堂



16:00からは喜多見不動堂、慶元寺の境外仏堂です。法要後、「本当に鬼がいたとして、追いついたらどこかでまた悪さをする。この不動では鬼を福に変えるので『福は内』だけです」などのお話の後豆まき。慶元寺も不動堂も景品付き。16:20頃終了。

【結論】喜多見の節分制覇には2年必要

残念

大島桜が伐採されました



残された切り株

喜多見5丁目子どもの遊び場(竹山市民緑地の隣)の真ん中にあった大島桜が昨年10月に伐採されました。公園のシンボリックな木だったので、とても残念に思い、この公園を管理している砧公園管理事務所に聞いてみました。

樹木医の診断によると「さめ肌胴枯れ病」という病気にかかり、枝の落下や倒木の可能性があるということで、やむなく伐採することにしたそうです。ここ1~2年、咲く花の数が少ないな、葉っぱも元気がないなと心配しながら見ていましたが、病気だったのです。

ソメイヨシノとはひと味違う、華やかさの中にも逞しさのような雰囲気漂わせ、とても良い香りがする桜の木でした。夏の暑い日には木陰を作ってベンチに座る人々をホッと一息つかせてくれました。とても寂しく残念です。

今のところ新しく木を植えるなどの計画はないようですが(同じ病気にかかるなどの懸念があるため)、できることならまた大島桜を植えてもらいたいです。

秋の野川ガサガサ

アユも捕獲!



こういう場所に小さな生きものがたくさん

昨年10月29日(土)、大人14・中学生1・小学生3・幼児2の計20人で秋の野川ガサガサを行いました。全体的に水量が多く深くなっていました。河床整備工事後減少していたメダカが復活して、収穫はメダカ71・オイカワ21・タモロコ16・シマドジョウ12・エビ1330など計19種類15匹でした。エビは玉網に入ってもその場で離れたものも多く数えただけでも過去最高を記録、数年前から見かけていたアユもようやく捕獲しました!

INFORMATION

冬野川ガサガサ&ごみ拾い

【日時】2月18日(土)

10:00~11:00 ごみ拾い

11:00~12:00 野川ガサガサ

【持物】川用の靴、あれば玉網・バケツ

【集合】次大夫堀公園築山横の野川階段

【申込】喜多見児童館 tel.3417-9151

※ 安全確認のための事前調査なしで実施します。

※ 暖かい服装でお越しください。